

令和7年度第9回沼田市教育委員会会議録

- 1 期日 令和7年11月20日（木）
- 2 場所 テラス沼田 庁議室
- 3 出席者 竹之内篤教育長、武藤英子委員、長谷川清委員、小黒陽子委員、佐藤広幸委員
- 4 沼田市教育委員会会議規則第19条第3号による出席者

星野盾教育部長、栗原満博教育総務課長、林武史学校教育課長、武井良和生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、阿部勝良スポーツ振興課長、真船啓子教育総務課長補佐

- 5 開会宣言（午前9時28分）
- 6 会議録の承認

- 7 日程第1 会期の決定

会期は、11月20日の一日と決定

- 8 日程第2 会議録署名委員の指名

教育長が小黒陽子委員を指名

- 9 日程第3 教育長報告

（教育長）

教育委員の皆様には、大変お忙しいところ、指導主事訪問や、教育水準向上研究授業研究会、さらには市文化祭オープニングセレモニーや市町村教育委員会連絡協議会の全体研修会など、多くの行事に出席いただき感謝申し上げます。昨年度あたりからまさにスポーツの秋、芸術の秋と言われるように、スポーツ大会や文化祭等の行事がコロナ禍の前に戻ってきていると感じる。教育委員の皆様には引き続き、教育委員会の事業や学校行事等についてご覧いただき、助言や激励をお願いしたい。

本日は大きく2点について報告したい。

1点目は、行事等における子供の活躍について3つ報告する。

・11月3日（月）に市民音楽祭が行われた。オープニングにおいて、市内中学校合同吹奏楽部の有志の皆さんが市民吹奏楽団の皆さんとコラボレーションして出演した。今年度は部活動の地域展開の趣旨を踏まえて、吹奏楽部の部員から参加希望の形を取り、練習にも生徒が主体的に取り組める活動をしてきた。文化会館大ホールのステージいっぱい子供と大人の演奏者が並びすばらしい演奏をして、こういった活動を通して部活動の地域展開が更に充実していくこ

とを期待している。

・11月13日（木）に教育水準向上研究授業研究会を沼田南中学校、池田中学校、薄根中学校、利根中学校を会場に開催した。こういった取組をきっかけとして更なる授業の充実、子供たちの学力向上を図っていきたいと思うので、お気づきの点をご指導いただければと考えている。

・11月15日（土）に子ども議会が行われた。24人の小中学生及び高校生が参加して、どの児童・生徒もしっかりとした態度で質問をしていた。教育委員会関係では、学校の統廃合後の校舎について、池田小学校の活用方法、沼田市の子供たちに伝えたい学校教育における取組、沼田市が設置する自習室の工夫・改善について、多那小中学校統合後の跡地利活用について、よりたくさんの方が使える図書館へ、ということで6項目の質問があったが、どれも沼田市の将来をしっかりと考えたものだった。

2点目は、11月の校長会の指示伝達事項について、3つの項目について指示伝達を行った。

・危機管理に関連して、安全安心の確保に向けて熊の出没への対応であるが、家庭や地域と連携協働して、安全安心を守っていけるように最善の対策を講じること。またセイフティ沼田の内容を一部修正したので、各校においても修正点を各校の計画に反映させるなど地域性に応じた十分な対応を工夫していくこと。

・教育課程の管理に関連して、様々な機会を有効に活用して、授業改善・学力向上につなげていくこと。

・教育課程の管理に関連して、探究的な学びを充実させていくために自校の良いところ、改善すべきところをもとに、小グループで校長先生方に話し合う時間を取り、先生方の指導力の向上と子供たちの学びに向かう姿などについて共通理解を図った。

（武藤委員）

市町村教育委員会連絡協議会の際に、県の平田教育長さんと話す機会があった。普通高校が沼田に残って良かったという話をしたが、教育長さんからは、沼田の子供はとてもよく育っているのだからうれしいと言ってもらい、小学校、中学校できちんと教育をされて高校へ行っているのだと思った。

沼田中学校に訪問に行ったときには、先ほど教育長さんの話の中にもあった吹奏楽の話があり、コンクールにも出られるようになったので励みになっている、音楽や美術の力が素晴らしいという話をされていた。

また、沼田と川場のコラボで、池田美穂さんのラベルを作って地ビールを販売することとなったが、沼田だけでなく利根沼田が一つになって形になったことはとても良い刺激にもなり、発展して行ってほしいと思う。

（長谷川委員）

毎月熊のことになってしまうが、各学校がマラソン大会の時期で、中止や校内を走るようなコースに変更になったのかと思う。

10月29日には升形小学校に訪問に行った。以前から木造校舎の2階のエアコン問題があったが、1部屋に付いたと校長先生から話があった。もう1部屋については今後予定があるのか。

不登校に関して、全国の小中学校で35万人を超す不登校児童・生徒がいる

というニュースを見た。その中で、不登校児童・生徒に対して、文科省が定める要件を満たせば出席扱いになる制度があるというのが頭に残ったが、沼田市でもそのような制度や取組があるのか知りたい。

（教育総務課長）

升形小学校の木造校舎のエアコンの関係だが、もう1箇所の今後の設置については、普通学級が使用する教室となれば対応していく。普通教室なので容積に見合ったエアコンを設置したわけだが、屋根の形状が普通の校舎と違うので、うまく教室の中が冷えなかった等いくつかの原因も考えられている。今後も必要に応じて、検討をしてみたいと考えている。

（学校教育課長）

不登校の話をしていただいたが、最新では沼田市の子供たちも97、98人ぐらいが不登校の報告が上がってきている。昨年度と同じ数になってきて、今後ますます増加していくのではないかと危惧している。取組として一番大切なのは、子供たちがつながることなのかなと思う。家に一人でのではなく、学校や他の関係機関でもいいが、一人ぼっちにしない、誰一人取り残さないということをお願いしたいと思っている。学びの保障に関しても、学校が足を運んだり、電話をかけたり、オンライン授業がつながるようにしたり、学校で取り組んでいる教材を持って行ったりということに関わるようにしている。不登校に関しては、教育支援センターきずなやフリースクールに行っている場合については、基本的に出席扱いができるように学校とは共通理解を図っているところである。随時状況に応じながら、取り組みを工夫して対応したいと考えている。

（教育長）

10月25日に教育と医療と福祉等が連携をして研修会を行った。これからは、学校教育だけでなく福祉や医療と連携をしながら対応していくことが必要だと感じた。市内にも民間のフリースクールが1校あるので、情報交換を常にしながら進めていく。白沢地区コミュニティーセンター内に「きずな」が市全体の教育支援センターとしてあるが、来年以降、校内に3校程度設置できればと考えている。コロナ禍をきっかけに不登校は本市だけでなく全国的な課題になってきた。不登校児童・生徒に対する対応ということだけではなくて、不登校児童・生徒を減らすという視点で、教育委員会としても今後取り組んでいく必要があると感じている。

（小黒委員）

沼田市文化祭のオープニングセレモニーに出席した。初めての出席だったが、参加者が少なく寂しい感じがした。一団体でも舞台発表があれば、もう少しにぎやかになって良いのかと感じた。

11月13日には利根中学校の教育水準向上研究会に出席したが、子供たちは班で話し合いをしながら、イギリスがEUを離脱した理由をしっかりと個々に考えていてすばらしいと感じた。

市町村教育委員会連絡協議会全体研修会では、沼須人形芝居の人形使いの体験をさせていただいた。あけぼの座の皆さんは簡単に人形を扱っているが、実際にやってみると難しいと感じた。伝統芸能の継承は、日本の文化や日本の心

を守る上でとても大切だと思うので、あけぼの座の皆さんには今後も頑張っていていただきたいと感じた。

(生涯学習課長)

文化祭のオープニングセレモニーの関係だが、昨年度まではウェルプラザ(保健福祉センター)で行っていた。今年度初めて文化会館大ホールの開催となったが、ご指摘のとおり空席が目立ち寂しい風景であった。今まで行っていた文化功労者表彰やアトラクションを別日に行う企画になってしまい、イベント的には来賓の挨拶で終わってしまう内容になってしまった。大きな課題だと捉えているので、また大ホールで実施する場合には座り方を工夫する等、文化協会の方と協力しながら考えていきたいと思っている。

(佐藤委員)

教育水準向上授業研究会の薄根中学校に行かせていただいた。多くの方が参加していて非常にいいと思った。授業研究会をもとにして自分の授業改善に役立てる流れが出てくると、教員の授業力の向上、資質の向上につながると改めて感じた。教育水準の研究会に関わらず、いろいろな公開授業に参加したりオンラインで見たりして、学びの意欲の高い教員、より良い授業を作ろうという教員をたくさん作っていただける機会を、今後も作っていただけるとありがたい。最近ではICTを使った授業がほとんどだが、中学生がタブレットを効果的に使っていると感じている。初めの頃はICTをどう使ったらいいかと試行錯誤していたが、今は授業の中で教育ツールとしてうまくタブレットを活用できるようになったと感激した。小学校の低学年は文字を一生懸命書いているが、中学生くらいになると文字を書くのが面倒と言う子供も多くなってきている。文字を書く中で、早くきれいに整えて書く、学ぶこと、大切なこと、能力の育成になることもたくさんあると思う。今後もICTの活用能力を高めてほしいと思うが、文字を書く機会が少なくなっているため、授業の中で文字を書く機会をバランス良く計画的に取り入れてやっていけるといいと思った。

(学校教育課長)

今年度の教育水準研究会は4校を同時開催にして、1校1つにしたことによって授業自体の練り上げはできたと思う。こういう研究の機会だと専門的なことについて話ができるメリットがある。研究会で解決しなかった疑問について、改めて研修したいという声が上がって研修会が生まれ、いいつながりができたと感じた。研修の機会というのが、働き方改革の流れの中で一時少なくなったが、必要感はあるので大事にしていきたいと思っている。

同様にICTの活用も、どう使ったら効果的かという段階に入ってきている。より効果的などころを目指しつつ、書く、読む、話す、昔から大事にしてきた活動があるので、その辺もよく整理しながら効果的な活動につなげて学力向上を図っていききたいと思っている。

・次回開催日

次回開催を、令和7年12月24日(水)午前9時30分から予定

(教育総務課長)

- ・ 1 2 月定例市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 「沼田市新たな学校づくり実施計画」の進捗状況について
- ・ 学校給食センター「出張！学校給食試食会」の開催結果について
- ・ 1 2 月の主な行事予定について

（学校教育課長）

- ・ 1 2 月定例市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 令和 7 年度中学生のための大学講座(数学・理科)について
- ・ インフルエンザ感染（学級閉鎖）状況について

（生涯学習課長）

- ・ 1 2 月定例市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 令和 7 年度沼田市上毛かるた大会について
- ・ 令和 8 年沼田市二十歳を祝う会について
- ・ 第 2 7 回柳波賞入賞者について
- ・ 第 2 2 回おのちゅうこう「ふるさと文学賞」入賞者について

（文化財保護課長）

- ・ 1 2 月定例市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 工事に伴う旧久米家住宅洋館の臨時休館について
- ・ 埋蔵文化財調査センター収蔵施設・資料見学会について
- ・ 大正ロマンエリア「ハロウィンイベント」の結果について

（スポーツ振興課長）

- ・ 1 2 月定例市議会付議予定事件（補正予算要求概要）について
- ・ 第 3 3 回沼田市民グラウンド・ゴルフ大会の結果について
- ・ 第 6 3 回県民スポーツ大会の結果について
- ・ 第 1 回沼田市民モルック大会の結果について
- ・ 利根沼田ロードレース大会について

10 日程第 4 報告第 6 号 沼田市学校給食センター運営委員会に対する諮問について

議事の概要

学校給食賄い材料費が物価高の影響を受けていることを受け、条例で規定する学校給食センター運営委員会に対する学校給食費の見直し（変更）についての諮問について、教育長が臨時代理したものを報告し、その承認を求めるもの

教育総務課長が提示資料により説明

異議なく報告のとおり承認

11 日程第 5 議案第 2 2 号 令和 7 年度沼田市社会教育功労者等の決定について

議事の概要

当該年度、沼田市社会教育の発展に寄与し、本市社会教育の普及及び振興に
功勞のあつたものの表彰について議決を求めるもの

生涯学習課長が議案書添付資料により説明

異議なく報告のとおり決定

12 閉会宣言（午前10時40分）